

2025/3 期 Q3 決算：ストック収入堅調もフロー収入の苦戦とデータセンター移設に伴うコストで厳しい。2026/3 期の収益回復幅が鍵に

2025/3 期 Q3 決算(2月13日発表)は、9か月累計の売上高が8,889百万円、営業利益が▲364百万円と厳しい内容。前年同期は子会社のウェブスペースを取り込む前であり単純比較はできないが、営業利益465百万円であったことから、前年比で大きく悪化した。ただし、1月17日に2025/3期通期の会社予想の下方修正が発表されており、業績悪化は市場では認識されていたと推察される。

2025/3期会社予想の営業利益は当初予想312百万円から▲690百万円へ1,002百万円下方修正されたが、主な要因は、端末販売や開発売上などのフロー収入の下振れにより▲822百万円、データセンター移設の際の障害への対応などで▲490百万円など。一方、センター利用料やQR・バーコード清算料などのストック収入は安定しており、その粗利額は当初予想より87百万円上回った。

データセンター移設は、当初計画では2025/3期末までに完了し、627百万円の費用がかかる見込みであったが、現時点の見通しでは、2025年6月頃までずれ込み、合計費用は900百万円程度へ増加するとみられる(うち2025/3期には532百万円が計上される見通し)。一方、2030年までに同社が取り扱うデータが60倍になると見込まれる中、新データセンターは同社の成長を可能とする基盤となることが期待される。

2026/3期は、従来、データセンター移設の完了や情報プロセッシング事業の拡大などにより、営業利益で2,075百万円と大幅増益を会社は予想していた。しかし、データセンター移設の遅れと端末販売などのフロー収入の鈍化、情報プロセッシング事業の立ち上げ遅れなどにより、下回る公算が大きい。2025/3期をボトムに2026/3期の業績がどこまで回復してくるかが、株式市場での当面の注目点であろう。2026/3期からの新たな利益成長ステージが見えてくれば、株価も回復に転じると予想される。

株価・出来高



出所：ストラテジー・アドバイザーズ

主要指標

株価(3/11)	347
52週高値(24/3/1)	718
52週安値(25/3/4)	342
上場来高値(23/7/4)	1,946
上場来安値(25/3/4)	342
発行済株式数(百万株)	37.0
時価総額(十億円)	12.8
EV(十億円)	11.6
自己資本比率(24/3実績、%)	42.2
PER(25/3 会予、倍)	NM
PBR(25/3Q3 実績、倍)	1.2
EV/EBITDA(25/3 会予、倍)	9.5
配当利回り(25/3 会予、%)	0.0

注：安値、高値は終値ベース

出所：ストラテジー・アドバイザーズ

日本基準-連結

決算期	売上高 (百万円)	前年比 (%)	営業利益 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	DPS (円)
2024/3 Q3	2,917	52.0	179	20.9	180	20.8	162	-27.6	3.0	-
2025/3 Q3	3,150	-	-180	-	-184	-	-277	-	-7.6	-
2024/3 Q3累計	7,527	-	465	-	460	-	428	-	11.6	-
2025/3 Q3累計	8,889	-	-364	-	-374	-	-480	-	-13.0	-
2022/3	7,139	10.7	711	358.8	712	348.9	-385	-489.9	-12.2	0.0
2023/3	7,831	9.7	560	-21.2	535	-24.8	672	-274.4	21.2	0.0
2024/3	10,370	-	777	-	765	-	585	-	15.8	0.0
2025/3 会社予想	12,154	-	-690	-	-706	-	-816	-	-22.1	0.0

注：ウェブスペースの連結子会社化により2024/3期Q3から連結決算。ただし、2024/3期Q3およびQ4は貸借対照表への反映のみで損益計算書には含まれない。このため、2024/3期、2025/3期会社予想の前年比増減率は非表示。

百万円未満は切捨て。

出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

1. 2025/3 期 Q3 決算概要

足元の収益は厳しい

トランザクション・メディア・ネットワークス (以下 TMN) は、2 月 13 日、2025/3 期 Q3 決算を発表。9 か月累計の売上高は 8,889 百万円。連結子会社のウェブスペースを除く売上高は 7,830 百万円であり、前年同期の単体売上高 7,527 百万円に対して 4.0%増。センター利用料などのストック収入は前年同期比 15.4%増と順調に伸びたが、決済端末販売などのフロー収入が同 21.2%減と苦戦した。Q3 累計の営業利益は▲364 百万円と悪化。前年同期は子会社のウェブスペースを取り込む前であり単純比較はできないが、営業利益 465 百万円であったことから、前年比で大きく悪化した。

フロー収入の下振れとデータセンター関連費用が響く

1 月 17 日、会社は 2025/3 期通期の業績予想の下方修正を発表。売上高は 13,645 百万円から 12,154 百万円へ、営業利益は 312 百万円から▲690 百万円へ下方修正された。営業利益の下方修正▲1,002 百万円の要因別は図表 2 の通りであるが、フロー収入が軒並み下振れていることにより、粗利額で合計▲822 百万円の下方修正要因となっている。また、データセンターでの障害対応や保守対応などにより、当初予想に対して▲490 百万円の費用増となっている。

データセンター移設は 2025 年 6 月まで延びる

データセンター移設に伴う一過性費用については、移設が遅れていることにより、完了時期は当初の 2025/3 期末から 2025 年 6 月頃までずれ込む見通し。これに伴い、2025/3 期に発生する費用は当初予想の 627 百万円から 532 百万円へ減少する見通しであるが、2025/3 期と 2026/3 期の合計では 627 百万円から 900 百万円前後へ増加する可能性が高いとみられる。

図表 1. 2025/3 期 Q3 決算要約

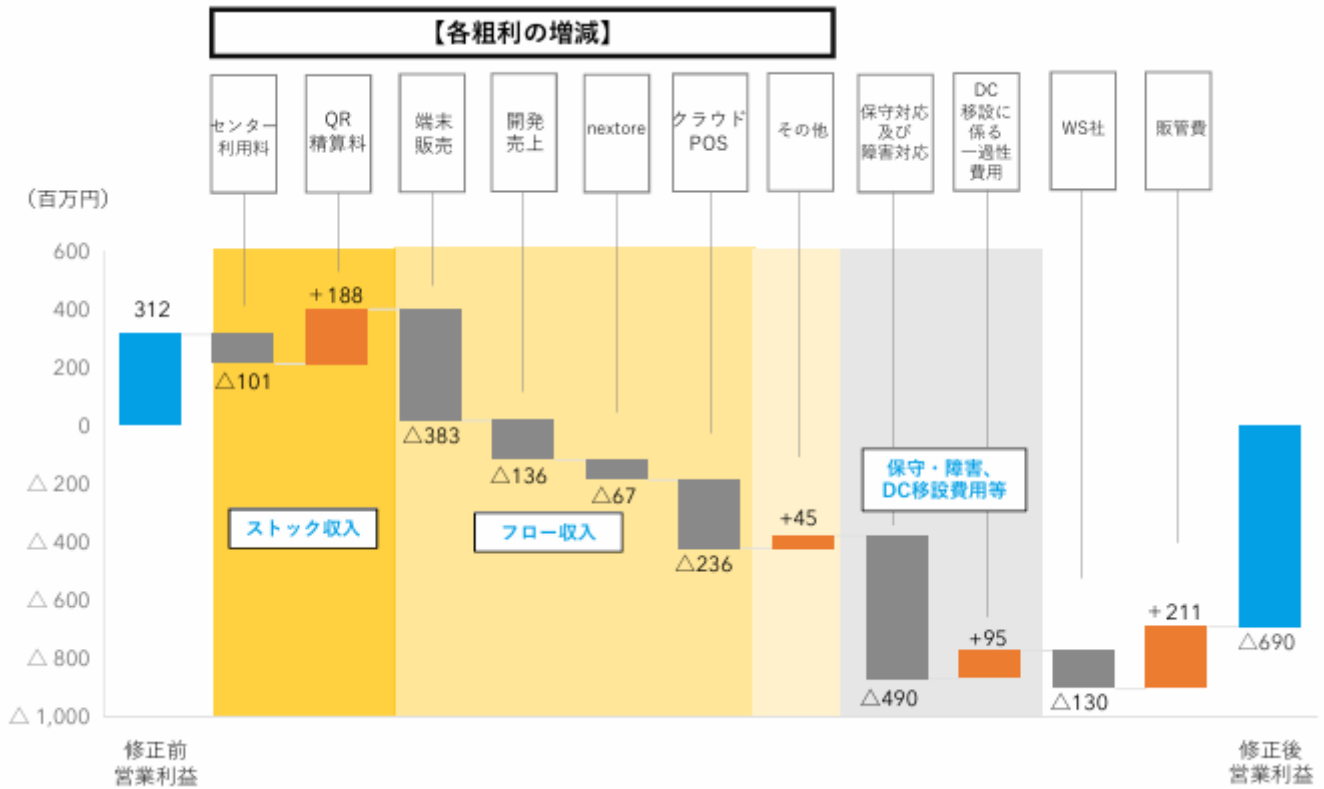
(百万円)

	24/3 Q3累計	25/3 Q3累計 (A)	進捗率 (A)/(B)	25/3通期会社予想 (B)	25/3通期当初予想 (修正前)
売上高 (連結)	7,527	8,889	73.1%	12,154	13,645
ストック収入	5,189	5,989	73.6%	8,135	8,209
センター利用料	3,179	3,449	74.1%	4,652	4,684
QR/バーコード精算料	1,598	2,163	73.2%	2,955	3,021
登録設定料	412	376	71.4%	527	505
フロー収入	2,337	1,842	70.1%	2,630	3,956
決済端末販売売上	1,254	1,173	74.7%	1,571	2,358
開発売上	455	303	60.0%	504	648
その他 (nextore他)	627	365	66.0%	554	949
ウェブスペース	-	1,059	76.2%	1,389	1,480
売上総利益	2,344	2,499	77.8%	3,212	NA
営業利益	465	-364	52.8%	-690	312
経常利益	460	-374	53.0%	-706	286
当期純利益	428	-480	58.8%	-816	235
EBITDA	1,649	1,118	91.6%	1,220	2,526

注：25/3 期の会社予想の修正は 1 月 17 日に発表。

出所：会社資料からストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 2. 25/3 期営業利益予想の下方修正要因



出所: 会社資料

図表 3. 損益計算書と主要指標 (四半期別)

(百万円)

決算期	24/3				25/3			
	Q1 単体	Q2 単体	Q3 単体	Q4 単体	Q1 連結	Q2 連結	Q3 連結	Q4CoE 連結
売上高合計	2,305	2,304	2,917	2,842	2,732	3,006	3,150	3,263
(前年同期比)	36.3%	19.3%	52.0%	24.3%	NM	NM	NM	NM
<ストック収入>	1,632	1,726	1,827	1,862	1,928	1,983	2,074	2,145
(前年同期比)	27.7%	29.3%	25.1%	21.1%	18.1%	14.9%	13.5%	15.3%
・センター利用料	1,033	1,059	1,085	1,105	1,129	1,146	1,173	1,203
(前年同期比)	10.8%	12.9%	12.2%	12.4%	9.3%	8.2%	8.1%	8.9%
・QR・バーコード精算料	461	527	609	633	669	714	779	791
(前年同期比)	176.0%	130.1%	80.2%	53.6%	45.1%	35.5%	27.9%	25.1%
・登録設定料	138	140	133	124	131	123	122	151
(前年同期比)	-22.9%	-16.7%	-14.7%	-12.7%	-5.8%	-12.1%	-8.3%	21.8%
<フロー収入>	670	575	1,087	977	422	661	755	788
(前年同期比)	63.4%	-3.2%	138.4%	30.6%	-37.0%	15.0%	-30.5%	-19.3%
・端末販売売上	402	361	489	476	245	381	546	397
(前年同期比)	68.9%	-0.6%	83.8%	-3.3%	-39.1%	5.5%	11.7%	-16.4%
・開発売上	187	132	135	406	90	108	104	201
(前年同期比)	43.8%	-22.8%	-2.2%	108.2%	-51.9%	-18.2%	-23.0%	-50.5%
・その他	81	82	463	95	87	172	105	188
(前年同期比)	92.9%	36.7%	790.4%	55.7%	7.4%	109.8%	-77.3%	98.9%
ウェブスペース	-	-	-	-	377	361	321	330
(前年同期比)	-	-	-	-	NM	NM	NM	NM
売上総利益	789	763	790	977	841	837	820	715
(売上総利益率)	34.2%	33.1%	27.1%	34.4%	30.8%	27.8%	26.0%	21.8%
販売費及び一般管理費	620	595	611	665	899	963	1,001	1,038
営業利益	169	168	179	311	-57	-126	-180	-324
(前期比)	201.8%	-11.6%	20.9%	89.6%	NM	NM	NM	NM
(営業利益率)	7.3%	7.3%	6.1%	10.9%	-2.1%	-4.2%	-5.8%	-10.0%
営業外損益	-7	1	1	-6	-2	-5	-4	-6
経常利益	162	169	180	305	-59	-130	-184	-330
(前期比)	189.3%	-11.5%	20.8%	122.6%	NM	NM	NM	NM
(売上高経常利益率)	7.0%	7.3%	6.2%	10.7%	-2.2%	-4.4%	-5.9%	-10.2%
当期純利益	161	157	162	156	-71	-131	-277	-332
(前期比)	192.7%	-13.3%	6.6%	-44.9%	NM	NM	NM	NM
EBITDA	552	565	583	739	398	354	364	102
接続端末台数(期末時点、千台)	870	900	930	960	990	1,010	1,060	NA
決済処理金額(GMV)(十億円)	1,065	1,110	1,195	1,230	1,100	1,200	1,300	NA
決済処理件数(百万件)	560	600	600	640	600	600	700	NA

注：ウェブスペースの連結子会社化により2024/3期Q3から連結決算。ただし、2024/3期Q3およびQ4は貸借対照表への反映のみで損益計算書には含まれない。

出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

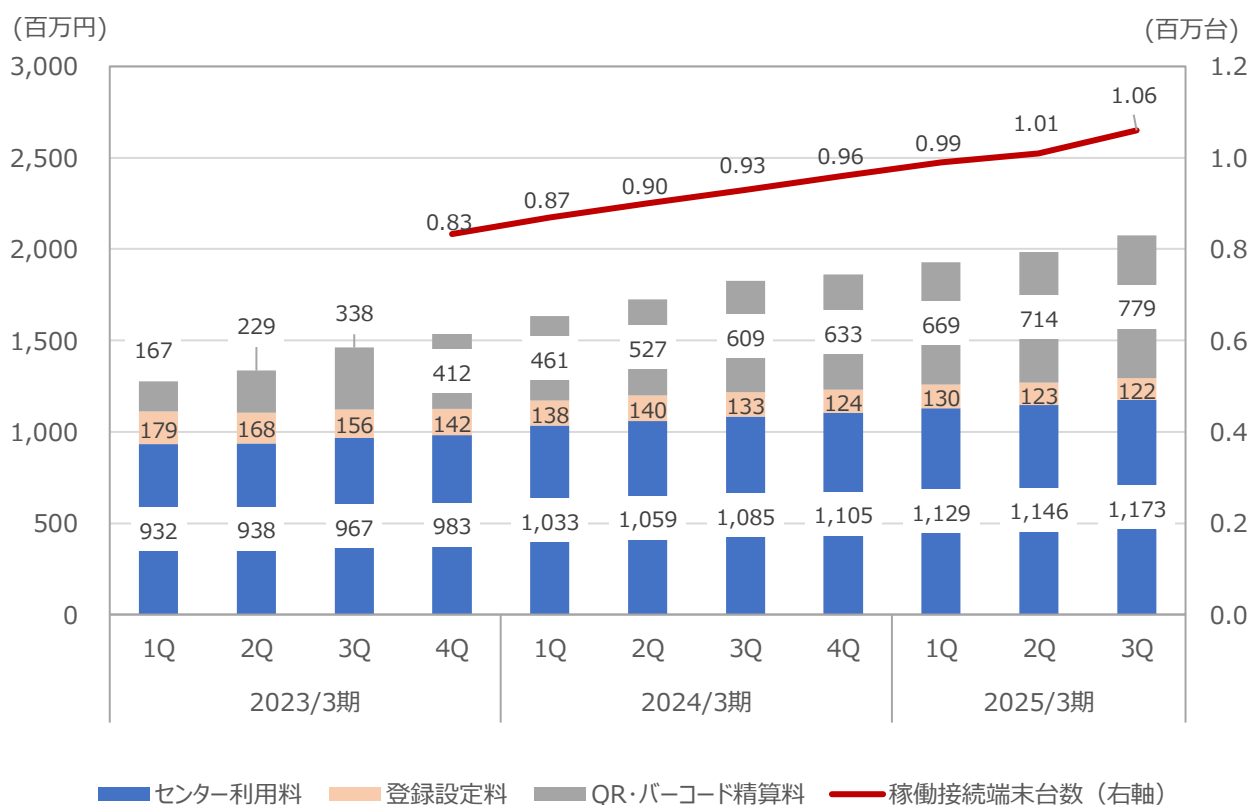
2. 主要事業の動向

ストック収入は堅調

TMNの稼働接続医端末台数は、2025/3期Q3末で106万台(2024/3期末比10万台増)となった。決算処理金額のQ3累計は3.6兆円(前年同期比8.9%増)、決算処理件数はQ3累計で19億件(前年同期比8.4%増)であった。これらの着実な増加により、ストック収入は堅調に拡大している。

2025/3期Q3もストック収入は9か月累計で前年同期比15.4%増と伸びている。このうち、センター利用料は3,449百万円(前年同期比8.5%増)と堅調。特に伸びているのは、QR・バーコード清算料で、2,163百万円(同35.4%増)となった。決済処理金額に対する従量課金を行っているため、決済処理金額の伸びとともに高い成長を続けている。センター利用料およびQR・バーコード決済清算料のうち、従量課金の比率はQ3で44.3%に達している。定額課金も景気変動に対して抵抗力を有するため収益基盤としての役割を担うが、成長については従量課金がけん引すると予想される。

図表 4. ストック収入と稼働接続端末台数の推移



出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

端末販売などのフロー収入は苦戦

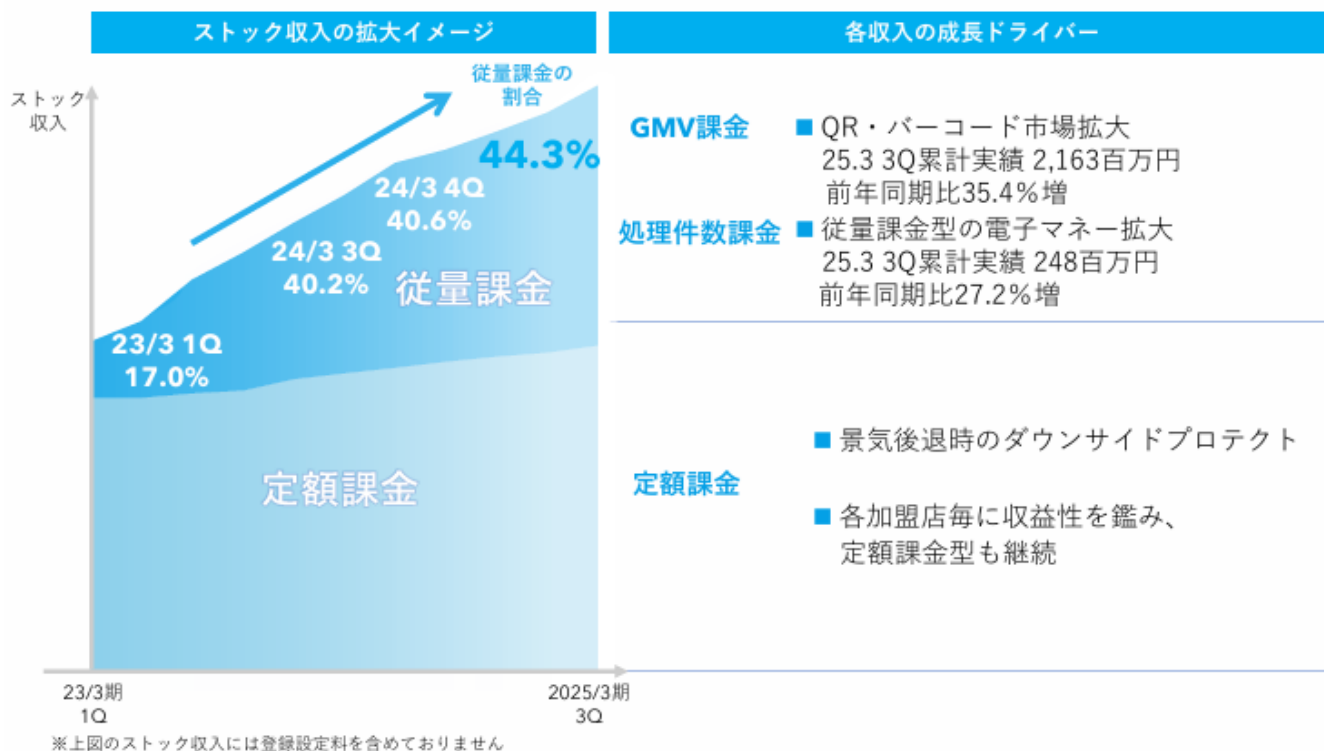
端末販売は予想に対して下回っており、2025/3期の売上高は前年比でも若干減少する見通しである。顧客の計画見直しによる導入の遅延などもあり、当初計画のように伸びていない模様。2023年7月から受注を開始した「UT-X20」などは、当初は大手顧客向けに拡大したとみられるが、その後の伸びが想定していたほどではない模様。直近ではモバイル型マルチ決済端末の「UT-P11」が受注を開始しており、今後の販売増への貢献が期待される。

開発売上は、顧客のプロジェクト案件の見直しによる中止などもあり、2025/3 期の売上高は当初予想を下回る見通しである。売上規模は小さいが利益率は高いと推定され、粗利額の下振れに響いている。開発売上はスポット的な要素が強いいため、案件を獲得できるか否かで売上は変動する傾向がある。

情報プロセッシングも遅れる

その他は、中小型企業向けのサービスを展開する nextore の端末販売が伸び悩んだこと、クラウド POS も開発案件が下振れするなどして、やはり当初予想から下方修正された。クラウド POS はクサリのアオキホールディングス(3549 東証プライム)で導入されており、2026/3 期には売上が増加してくると予想される。これらの情報プロセッシング事業は、決済事業のように量を追求するビジネスとは異なり、案件ごとにカスタマイズされたサービスが重要とみられる。TMN としてこうしたビジネスモデルに適合していくのにやや時間を要している面がある。しかし、決済事業で構築した顧客基盤があるため、今後のポテンシャルが大きいことには変わりはないであろう。

図表 5. ストック収入と従量課金が占める割合の推移



出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

3. 業績見通し

データセンターの移設にはすでに目処が立っており、2025/3 期の会社予想はやや保守的か

2025/3 期 Q3(3 か月)の業績は厳しく、営業利益は▲183 百万円の赤字となったが、1 月 17 日に発表された通期予想▲690 百万円から逆算すると、Q4 の営業利益は▲324 百万円となる。しかし、ストック収入が堅調に推移するとみられるほか、開発売上のように期末に増加する傾向のある事業もあることから、修正後の会社予想は若干保守的に映る。データセンターの障害対応や保守にかかる費用が不透明要因ではあるが、データセンターの移設はすでに 8 割程度完了している模様で、これからの下振れリスクは小さい。

2026/3 期の目標達成は難しい

会社が 2024 年 5 月に 2024/3 期決算を発表した際、2025/3 期の会社予想とともに 2026/3 期の目標も発表していた。それによれば、2026/3 期の売上高は 16,109 百万円、営業利益は 2,075 百万円の目標。会社は現在、2026/3 期の業績見通しについて精査中とのことであるが、この水準までは届かない公算が大きい。データセンターの移設に伴う一時的費用が、当初は 2026/3 期にはかからない見通しであったが、遅れによって 2026/3 期にも 4 億円前後の費用増要因となる見通しである。また、端末販売などのストック収入、成長が期待される情報プロセッシングも 2025/3 期に伸びが鈍ったことで当初目標の達成は難しくなってきたとみられる。

2026/3 期の業績回復の程度が注目される

今後は、2025/3 期決算発表時に示される予定の 2026/3 期の会社予想が注目される。2025/3 期の営業利益予想▲690 百万円に、データセンターの障害発生に伴う保守費用などで▲490 百万円が発生すると織り込まれていること、データセンター移設費用▲532 百万円が発生する見込みであること、を足し戻すと営業利益は、3 億円程度と計算される。一方、2026/3 期も、データ移設費用の残りが 4 億円程度発生するとみられる。これに対して、ストック収入は堅調な拡大が見込まれること、2025/3 期に下振れたフロー収入や情報プロセッシングが回復するとみられることでどの程度利益を上積みできるかがポイントとなろう。加えて、新データセンターの稼働による効率化や情報プロセッシング事業の実現が期待されよう。

4. 株価動向とバリュエーション

足元の株価はレンジ内で推移

TMN の株価の直近の動きを見ると、2024 年 11 月から業績予想の下方修正が発表された 1 月 17 日前後まで下落傾向を辿った。Q2 累計の進捗率の低さやデータセンターの障害などにより、業績の下振れが織り込まれる過程であったと推察される。その後は、一旦下げ止まったが、足元では株式市場全体の調整の影響を受けている。

低バリュエーション

キャッシュレス決済関連の銘柄とバリュエーションを比較すると、TMN の PBR1.2 倍、EV/EBITDA9.5 倍は国内企業で最も低い水準である。キャッシュレス決済の市場は高成長が期待され、各社のバリュエーションは東証プライム上場企業平均の PER16 倍、PBR1.3 倍を上回っている。海外企業では、Block のバリュエーションはさほどではないが、Adyen のバリュエーションは高水準である。TMN は同業他社に比べて業績の悪化が大きいため、足元の株価低迷やバリュエーションの低下は業績要因も大きいとみられるが、過去においても他社に比べて低いバリュエーションが続いてきた。

EV/EBITDA は他社を大きく下回る

TMN はデータセンターを自社で持ち、減価償却費が相対的に大きいため、EV/EBITDA で評価するのが妥当と考えられるが、2025/3 期は利益の悪化が大きく、結果として 2025/3 期予想基準の EV/EBITDA は 9.5 倍となっている。今回から EV の計算においては現預金から預り金を引いた金額をキャッシュとして扱っており、前回レポート(2024 年 12 月 16 日発行。預り金は考慮していない)と比べて、EV/EBITDA が計算上高くなっている。2026/3 期の業績水準がどうなるかはまだ不透明であるが、仮に、データ移設の影響がなかった 2024/3 期の水準で計算すれば、EV/EBITDA は 5 倍弱となり、やはり同業他社に比べて大幅に低いことになる。

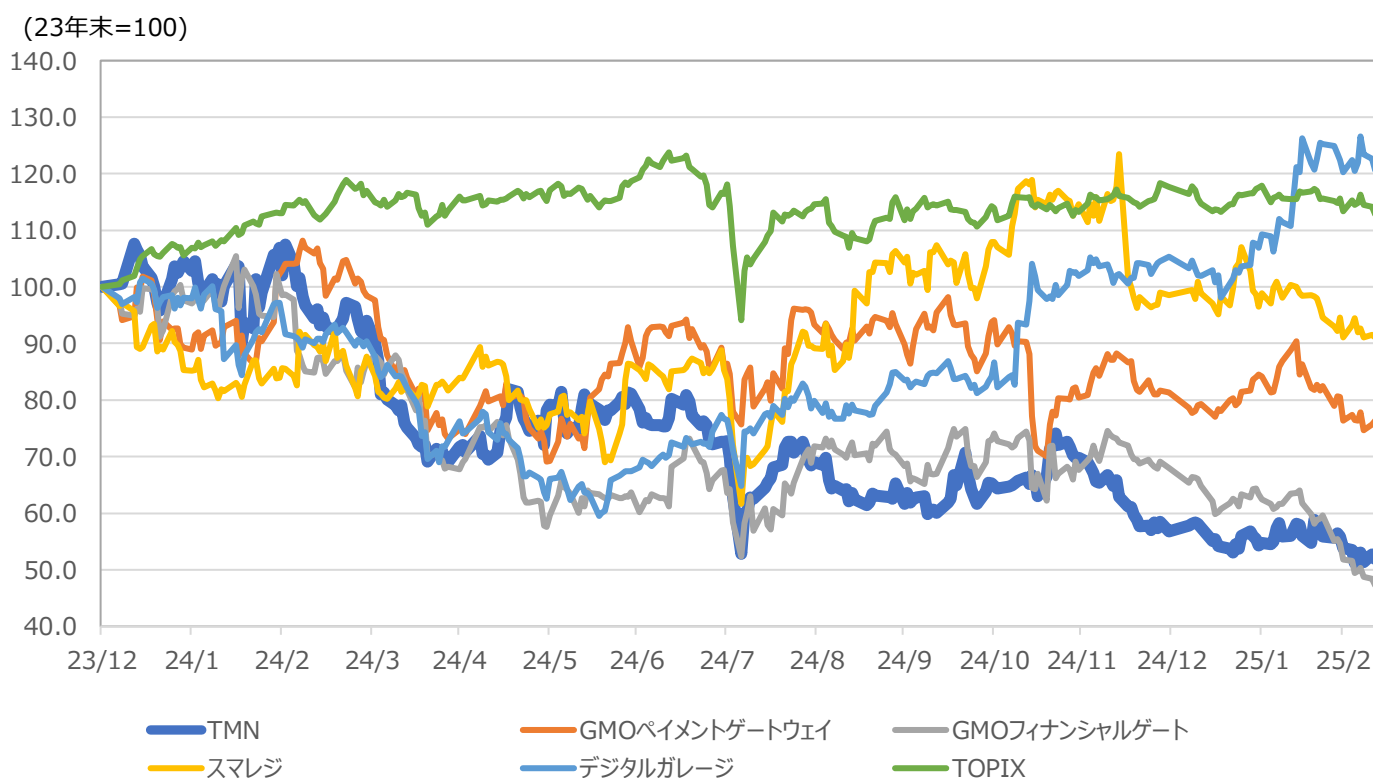
当面は 2026/3 期業績動向が鍵に

当面の株価は、やはり 2026/3 期の業績動向をにらみながら動く展開となろう。現時点では、業績回復の程度、つまり、利益水準の見通しに不透明感が大きいため、方向感を欠いた株価の動きになっていると推察される。データセンター移設のコスト面での影響はほぼ見えているため、今後のトップラインの動向がポイントとなろう。

中期的な成長性に引き続き注目

足元の業績が落ち着いてくれば、再び収益の成長性が注目されることになろう。ストック収入では、高い成長が続く QR・バーコード市場の拡大の恩恵を受けよう。従量課金型であるため、決済処理額の増大に伴って売上高も伸びる見通し。成長をけん引することが期待される情報プロセッシング事業の拡大も注目点である。特に、クラウド POS は、クスリのアオキ向けを皮切りに採用が進めば、ポテンシャルが拡大しよう。収益への大きな貢献はやや先になるとみられるが、成長が軌道に乗れば、株価へのインパクトはあろう。

図表 1. TMNと同業他社の株価推移



出所：ストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 7. 同業他社とのバリュエーション比較

	コード	通貨	決算期	株価	時価総額	EV	PER	PBR	EV/	配当利回り	ROE
				(3/11)	十億	十億	会社予想 倍	直近実績 倍	EBITDA 倍	会社予想 %	会社予想 %
TMN	5258	円	24/3	347	12.8	11.6	NM	1.2	9.5	0.0	-7.9
GMO PG	3769	円	24/9	7,482	567.5	597.7	30.7	5.6	17.7	1.7	15.6
GMO FG	4051	円	24/9	4,940	40.8	39.1	31.0	15.6	15.4	1.6	25.2
デジタルガレージ	4819	円	24/3	4,420	202.5	184.9	NA	2.6	NA	1.2	NA
スマレジ	4431	円	24/4	2,468.0	47.5	41.9	33.5	7.0	18.3	0.6	20.7
Block	XYZ	USDドル	24/12	55.29	34.3	29.4	12.4	1.6	8.1	0.0	13.6
Adyen	ADYEN	ユーロ	24/12	1,505.6	46.7	38.3	41.0	13.1	29.0	0.0	32.2

- 注：
- 1) 今期予想について、TMN、GMO PG、GMO FGは会社予想、Block、Adyenは Fact Set コンセンサス予想を利用。ROEは、会社予想の当期純利益を直近四半期末の自己資本で割って計算。
 - 2) EV/EBITDAのEVは、時価総額+有利子負債-(現預金-預り金)で計算。

出所：ストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 8. 同業他社との収益性比較 (直近年度実績ベース)

	コード	決算期	売上高営業利益率	ROE	ROIC	EBITDAマージン	自己資本比率
			%	%	%	%	%
TMN	5258	24/3	7.5	5.4	7.0	23.1	42.2
GMO PG	3769	24/9	34.1	19.2	19.2	38.7	29.9
GMO FG	4051	24/9	8.2	0.0	22.7	11.0	39.6
デジタルガレージ	4819	24/3	3.7	6.9	2.2	15.6	38.6
スマレジ	4431	24/4	20.7	22.8	120.3	23.3	75.1
Block	XYZ	24/12	1.7	0.1	1.4	1.7	54.9
Adyen	ADYEN	24/12	36.6	25.1	93.0	42.2	32.9
平均			16.1	11.3	38.0	22.2	44.8

注：直近の通期実績ベース。

出所：ストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 2. 損益計算書 (単位: 百万円)

決算期	単体 21/3	単体 22/3	単体 23/3	単体 24/3	連結 24/3	連結 25/3 CoE
売上高合計	6,451	7,139	7,831	10,370	10,370	12,154
(前年同期比)	-21.0%	10.7%	9.7%	32.4%	32.4%	NM
<ストック収入>	3,952	4,710	5,616	7,053	7,053	8,135
(前年同期比)	9.8%	19.2%	19.2%	25.6%	25.6%	15.3%
・センター利用料	3,133	3,496	3,822	4,285	4,285	4,652
(前年同期比)	32.4%	11.6%	9.3%	12.1%	12.1%	8.6%
・QR・バーコード精算料	188	486	1,147	2,231	2,231	2,955
(前年同期比)	754.5%	158.5%	136.0%	94.5%	94.5%	32.4%
・登録設定料	631	728	647	537	537	527
(前年同期比)	-47.8%	15.4%	-11.1%	-17.1%	-17.1%	-1.8%
<フロー収入>	2,495	2,426	2,212	3,314	3,314	2,630
(前年同期比)	-45.4%	-2.8%	-8.8%	49.8%	49.8%	-20.7%
・端末販売売上	1,459	1,364	1,360	1,730	1,730	1,571
(前年同期比)	-55.3%	-6.5%	-0.3%	27.2%	27.2%	-9.2%
・開発売上	820	897	636	861	861	504
(前年同期比)	-26.5%	9.4%	-29.1%	35.4%	35.4%	-41.4%
・その他	216	165	216	723	723	554
(前年同期比)	14.9%	-23.6%	30.9%	233.8%	233.8%	-23.4%
ウェブスペース						1,389
(前年同期比)						
売上総利益	1,915	2,279	2,562	3,321	3,321	3,212
(売上総利益率)	29.7%	31.9%	32.7%	32.0%	-	26.4%
販売費及び一般管理費	1,760	1,568	2,002	2,544	2,544	3,902
営業利益	154	711	560	829	777	-690
(前期比)	-90.6%	361.7%	-21.2%	48.0%	-	-
(営業利益率)	2.4%	10.0%	7.2%	8.0%	7.5%	-5.7%
営業外損益	4	1	-25	-11	-12	-16
経常利益	158	712	535	818	765	-706
(前期比)	-90.4%	350.6%	-24.8%	52.9%	-	-
(売上高経常利益率)	2.4%	10.0%	6.8%	7.9%	7.4%	-5.8%
当期純利益	98	-385	672	637	585	-816
(前期比)	-91.2%	-492.9%	-274.3%	-5.2%	-	-
EPS(円)	3.1	-12.2	21.2	17.3	15.9	-22.1
減価償却費	1,206	1,463	1,601	1,615	1,615	1,910
EBITDA	1,367	2,180	2,137	2,441	2,389	1,220
(前期比)		59.5%	-2.0%	14.2%	-2.1%	-48.9%

注: 2024年3月期第3四半期より連結財務書を作成しているため、前連結会計年度との比較は行っていない。

出所: 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 3. バランスシート(単位 : 百万円)

	単独	単独	連結	連結
決算期	22/3	23/3	24/3	25/3Q3
現金及び預金	3,419	2,861	13,173	4,004
営業債権	1,034	1,044	1,344	1,346
棚卸資産	549	504	621	787
その他流動資産	219	204	1,042	1,157
流動資産	5,223	4,614	16,182	7,295
有形固定資産	791	642	1,864	2,023
無形固定資産	4,001	4,070	6,755	6,954
のれん	0	0	430	384
投資その他の資産	355	481	756	630
固定資産合計	5,148	5,194	9,376	9,608
資産合計	10,372	9,808	25,558	16,904
買入債務	149	67	205	106
未払金・未払費用	389	778	1,239	1,090
短期借入債務 (リース債務含む)	507	4	167	334
契約債務	2,527	2,008	1,763	1,741
預り金	661	1,684	8,777	1,068
その他流動負債	261	189	407	1,426
流動負債	4,496	4,733	12,561	4,675
長期債務 (リース債務含む)	8	3	1,560	1,317
退職給付/給与引当金	100	115	178	194
その他固定負債	0	0	428	388
固定負債	108	118	2,167	1,900
負債合計	4,605	4,852	14,728	6,575
資本金	3,553	3,553	6,150	6,165
資本剰余金	3,553	708	3,305	3,319
利益剰余金	-1,345	672	1,257	777
株主資本	5,761	4,933	10,714	10,262
新株予約権	5	22	39	59
その他有価証券評価差額金	0	76	75	6
純資産合計	5,766	4,956	10,829	10,328
負債純資産合計	10,372	9,808	25,558	16,904
自己資本	5,761	4,933	10,790	10,269
BPS(円)	179.2	159.7	292.1	277.6

注 : 2024年3月期第3四半期より連結財務書を作成。

出所 : 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 4. 営業キャッシュ・フロー表 (単位: 百万円)

決算期	単独 21/3	単独 22/3	単独 23/3	連結 24/3
減価償却費	1,206	1,463	1,601	1,615
有形固定資産売却損益	1	0	0	0
利息及び配当金の受取額	0	0	0	0
利息の支払額	-2	-4	0	0
預り金の増減額		298	1,022	-1,177
その他営業キャッシュ・フロー	-165	352	179	95
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,039	2,109	2,803	533
有形固定資産の取得	-450	-166	-100	-475
無形固定資産の取得	-1,859	-1,177	-1,276	-2,455
投資有価証券の取得	0	0	0	-200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得				7,710
その他投資活動によるキャッシュ・フロー				9
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,310	-1,344	-1,377	4,588
短期借入による収入	970	0	0	0
短期借入金の返済	0	-500	-500	0
株式の発行	0	999	0	5,164
株式の償還及び消却	0	0	-1,500	0
その他の財務キャッシュ・フロー	-64	-13	15	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	905	485	-1,984	5,190
Free Cash Flow	-1,270	765	1,426	5,121

注: 2024年3月期第3四半期より連結財務書を作成。

出所: 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 5. 株価指標、ROE および KPI

決算期	単体	単体	単体	連結	連結
	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3 CoE
EPS (円)	3.1	-12.2	21.2	15.9	-22.1
BPS (円)	232.0	179.2	160.0	292.1	169.0
1株当たり配当金 (円)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配当性向	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
終値 (円)	NA	NA	NA	628	373
PER (倍)	NA	NA	NA	39.6	NM
PBR (倍)	NA	NA	NA	2.1	2.2
期末発行済株式数 (百万株)	NA	NA	NA	36.9	36.9
自己株式数 (百万株)	NA	NA	NA	0.0	0.0
自社株控除株式数 (百万株)	NA	NA	NA	36.9	36.9
時価総額 (百万円)	NA	NA	NA	23,196	13,798
自己資本比率	75.7%	55.5%	50.3%	42.2%	60.8%
有利子負債残高	1,029	515	8	1,727	1,652
D/Eレシオ	0.14	0.09	0.00	0.16	0.16
EV(Enterprise Value)	NA	NA	NA	20,528	12,513
EBITDA (百万円)	1,367	2,180	2,137	2,389	1,220
EV/EBITDA倍率	NA	NA	NA	8.6	10.3
ROE	1.4%	-6.7%	12.6%	5.4%	-7.9%
ROIC (事業資産)	1.5%	-9.9%	15.9%	7.0%	-
従業員数	275	249	254	362	-
接続端末台数(千台)	580	690	830	960	-
年間決済処理金額 (兆円)	2.6	3.1	3.7	4.6	-
年間決済処理件数 (十億件)	1.5	1.7	2.0	2.4	-

注：

- 1) 25/3 期 (会社予想) の株価指標は 2 月 27 日終値で作成。バランスシート項目、株式数は 25/3 期 Q3 末の値で計算。
- 2) ROE は、25/3 期通期会社予想の当期純利益を Q3 末の自己資本で割って計算。
- 3) EV は時価総額+有利子負債- (現預金-預り金)。

出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

ディスクレイマー

本レポートは、株式会社ストラテジー・アドバイザーズ(以下、発行者)が発行するレポートであり、外部の提携会社及びアナリストを主な執筆者として作成されたものです。

本レポートにおいては、対象となる企業について従来とは違ったアプローチによる紹介や解説を目的としております。発行者は原則、レポートに記載された内容に関してレビューならびに承認を行っておりません(しかし、明らかな誤りや適切ではない表現がある場合に限り、執筆者に対して指摘を行っております)。

発行者は、本レポートを発行するための企画提案およびインフラストラクチャーの提供に関して対価を直接的または間接的に対象企業より得ている場合があります。

執筆者となる外部の提携会社及びアナリストは、本レポートを作成する以外にも対象会社より直接的または間接的に対価を得ている場合があります。また、執筆者となる外部の提携会社及びアナリストは対象会社の有価証券に対して何らかの取引を行っている可能性あるいは将来行う可能性があります。

本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、有価証券取引及びその他の取引の勧誘を目的とするものではありません。有価証券およびその他の取引に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行ってください。

本レポートの作成に当たり、執筆者は対象企業への取材等を通じて情報提供を受けておりますが、当レポートに記載された仮説や見解は当該企業によるものではなく、執筆者による分析・評価によるものです。

本レポートは、執筆者が信頼できると判断した情報に基づき記載されたものですが、その正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における執筆者の判断であり、予告無しに変更されることがあります。

本レポートに記載された情報もしくは分析に、投資家が依拠した結果として被る可能性のある直接的、間接的、付随的もしくは特別な損害に対して、発行者ならびに執筆者が何ら責任を負うものではありません。

本レポートの著作権は、原則として発行者に帰属します。本レポートにおいて提供される情報に関して、発行者の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行うことは法律で禁じられております。



Strategy Advisors

〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目27番8号セントラルビル703号